

2016年熊本地震に関する現地調査報告会を開催しました（2016/4/19）

テーマ：緊急調査、2016年熊本地震

2016年4月19日（火）災害科学国際研究所において、平成28年（2016年）熊本地震に関する現地調査報告会を開催しました。まず、今村文彦所長より今回の地震に関する概要と本報告会の趣旨について説明がありました。当日のプログラムは、以下のとおりです。（太字が発表者）

1. 調査報告 ①活断層に関する調査報告：遠田晋次教授・岡田真介助教（災害理学研究部門）
②建物等に関する現地調査報告：村尾修教授・森口周二准教授（地域・都市再生研究部門）・柴山明寛准教授（災害アーカイブ研究部門）
2. 事例報告 ①熊本・大分における歴史的な地震および関連活動の記録について：蝦名裕一准教授（人間・社会対応研究部門）・松岡裕也氏（東北大学文学研究科）
3. 情報提供 ①2016年熊本地震等による企業等への影響：丸谷浩明教授・寅屋敷哲也助教（人間・社会対応研究部門） ②東北メディカル・メガバンク機構（東北大学）発行『妊産婦を守る情報共有マニュアル』（URLは下部参照）

<一般・避難所運営者向け>：

http://www.megabank.tohoku.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2016/04/ID14985_01.pdf

<保健・医療関係者向け>：

http://www.megabank.tohoku.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2016/04/ID14985_0202.pdf

本報告会には、報道関係者を含む約90名が参加しました。当研究所では、今後も調査・分析などの結果を随時、発表してまいります。

平成28年（2016年）熊本地震に関する特設ページ

http://irides.tohoku.ac.jp/topics_disaster/2016kumamoto-eq.html

IRIDeS News

<http://irides.tohoku.ac.jp/irides-news/>

